

諸岡代表取締役社長が IAPH（国際港湾協会）の 総会にてパネリストとして登壇

平成 30 年 5 月 8 日(火)～11 日(金)にアゼルバイジャンの首都バクーにて開催された国際港湾協会（IAPH）の総会にて、当社代表取締役社長 諸岡 正道が、パネリストとして 2 回登壇しました。

◆ 登壇したワークショップパネル◆

1. 「Who's afraid of LNG?」（誰が LNG を恐れるのか）
2. 「Port incentives for green shipping logistics」（環境にやさしい海運業を促進する為に港湾が行う助成制度について）



(写真)パトリック・バーホーベン氏(IAPH 政策戦略担当 MD、左一)、サンチアゴ・ガルシア・ミラ氏(IAPH 会長、右二)、と弊社諸岡社長(右一)アゼルバイジャン共和国の首都バクー市にあるブタパレスにて

諸岡社長は、世界各国からの参加者を相手に、横浜港における LNG バンカリングへの取組や、環境対策としての助成金制度の詳細を紹介すると共に、IAPH の環境委員会、技術委員会、港湾企画委員会のキーマン達とディスカッションを交わしました。

IAPH は、世界の港湾関係者が集まる唯一の国際 NGO 団体です。YKIP は 2016 年

8 月から IAPH に加盟しています。

お問合せ先

横浜川崎国際港湾(株)営業部長 熊 桜 TEL: 045-680-6583 FAX:045-680-6637